

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	3 橋梁などの整備	② 施策番号	5106
③ まちづくりの方向〔政策（章）〕	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち		
④ 基本施策〔施策大（節）〕	2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	1 道路の整備		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
都市整備部	道路課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

① 施策の対象（誰、何に対して施策を実施するのか）	管理橋梁、通行者
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか）	高度成長期に一気に架橋された橋梁について、点検調査を行う事により橋梁の健全度の度合いを把握し管理橋梁全体の修繕計画を策定する事により、今までの事後的な修繕から予防的な修繕への転換を図り、計画的に橋梁の長寿命化を行い、長期的な橋梁管理のトータルコストを縮小し、道路ネットワークを構成する橋梁の安全性、信頼性を確保する
③ 環境（この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか）	全国的な問題として、同じ時期に架橋されている橋梁が多数となる為、今後、一斉に耐用年数を超え老朽化してくる橋梁が増加する事が予想される状況にあり、長寿命化修繕計画を策定し予防的な修繕を行う事により予算の平準化を図りながら更新していく必要がある。点検予算及び修繕、架け替え予算においては、莫大なものとなる為、国への予算措置要望を全国的に行っている。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標（成果指標）		単位	指標とした理由・考え方
① 点検対応率	計算式：点検橋梁数／点検予定橋梁数	%	5年毎定期的な点検調査に対する進捗率が把握できる。
② 修繕対応率	計算式：修繕対応件数／管理橋梁数	%	点検調査後の修繕対応の進捗率が把握できる。
③	計算式：		

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
①	点検対応率	%	目標値	31	0	0	21	31	
			実績値	31	0	0	21	—	
			達成率	100.0%			100.0%		
②	修繕対応率	%	目標値	83	83	83	84	84	
			実績値	3	3	3	3	4	
			達成率	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	4.8%	
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費（千円）			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1	道路維持管理事業	点検対応率	%	0	0	21	69,051	73,784	81,096	B	イ ab	○
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						69,051	73,784	81,096			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	高度成長期に一齐に架橋された橋梁について、点検調査を行う事により橋梁の健全度の度合いを把握し管理橋梁全体の修繕計画を策定する事により、今までの事後的な修繕から予防的な修繕への転換を図り、計画的に橋梁の長寿命化を行い予算の平準化を図りつつ、長期的な橋梁管理のトータルコストを縮小し、道路ネットワークを構成する橋梁の安全性、信頼性を確保する。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	着実な点検の実施と連動した修繕対応への進捗
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	橋梁については、道路施設の一部であり道路管理の一端として公共により管理するものであると考える。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	5年毎の点検調査については、道路法により定められている業務である為、適正に行うべきものである。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	市管理橋梁の点検業務は、道路法上定められている業務となる為、着実に実施すべきものである。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	長寿命化計画に基づく橋梁修繕予算等、事業進捗を図るための予算の確保が課題。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	緊急度の高いものから取り組む。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	優先順位を考慮し計画的に対応を行う。
中長期的対応 (3~5年をめどに取り組む改善案)	計画に基づく予算の確保の基、長期的な維持管理を行う。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	点検調査結果を踏まえた修繕対応については、優先度を踏まえ計画的に取組を進められたい。	